

令和元年度事業報告書

1. 会議に関する事項

種 別	期 日	会 場	出席者数	決 議 事 項 等
正・副理事長 打合せ会	31. 4.23	ハム・ソーセージ 会 館	正・副理事長 4名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度役員補選について ・ 令和元年総会・関連行事の役割分担について ・ 令和元年度常設委員会委員候補者について ・ その他
監 事 会	同 上	同 上	監 事 3名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年度収支決算に関する事項
理 事 会	同 上	同 上	理事 16名 監事 3名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年度事業報告及び決算等について ・ 第80回定時総会提出議案について ・ 平成30年度JAS優良工場決定について ・ 第66回優良従業員表彰被表彰者決定について
正・副理事長 打合せ会	元. 5.29	北海道札幌市 「札幌グランドホテル」	正・副理事長 4名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理事会の運営について ・ その他
理 事 会	同 上	同 上	理事 14名 監事 4名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第80回定時総会の運営について ・ 令和元年度委員会等委員の委嘱について ・ 令和2年総会開催地について ・ その他
第80回定時 総会	同 上	同 上	委任状とも 114名	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度事業報告の件 平成30年度決算書等承認の件 令和元年度事業計画報告の件 令和元年度収支予算報告の件 入会基準決定の件 平成元年度加入金決定の件 平成元年度会費及び徴収方法決定の件 常勤理事報酬最高限度決定の件 理事1名退任に伴う理事1名補選の件
正・副理事長 打合せ会	元. 9.25	東京都千代田区 「丸の内東京會館」	正・副理事長 4名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役員会及び協会80周年・組合70周年記念行事の運営について ・ その他

種 別	期 日	会 場	出席者数	決 議 事 項 等
理 事 会	同 上	東京都千代田区 「丸の内東京會館」	理事 17名 監事 4名	・会員の加入について（一部脱退報告を含む） ・その他
品質規格委員会	元.12.18	ハム・ソーセージ 会館	委員 11名	・ハム・ソーセージ類公正競争規約及び施行規則の見直し検討について 表示検討専門委員会（公取協）と合同開催 後日、変更案を書面決裁
正・副理事長 打 合 せ 会	2. 1.29	東 京 都 港 区 「浜松町東京會館」	正・副理事長 4名	・役員会の運営について ・慶弔に関する内規の改正について ・その他
理 事 会	同 上	同 上	理事 17名 監事 3名	・経理状況報告について ・その他
理 事 会	31. 3.27		決議の省略方式 (理事全員の賛成、 全監事の同意)	・令和2年度事業計画（案）について ・令和2年度収支予算（案）について ・経理状況報告について ・その他

2. 庶務に関する事項

- (1) 令和元年5月29日、北海道札幌市「札幌グランドホテル」において開催の第80回定時総会において理事の服部昭仁氏（北海道大学名誉教授）の退任に伴う理事1名の補選が行われた。その結果、根岸晴夫氏（中部大学教授）が選任された。
- (2) 令和元年9月25日、「東京會館（丸の内）」において「一般社団法人日本食肉加工協会創立80周年・日本ハム・ソーセージ工業協同組合創立70周年の記念式典及び祝賀会」を開催した。同式典において、以下の通り、感謝状が授与された。

< 農林水産大臣感謝状 >

加工協会 小森 嘉之（副会長、丸大食品(株) 常勤顧問）
松井 鉄也（副会長、プリマハム(株) 特別理事）
ハム組合 中田 二郎（常務理事、天狗中田産業(株) 社長）

< 農林水産局長感謝状 >

加工協会 小田木 毅（監事、石井法律事務所 弁護士）
松井 陽樹（常務理事、(株)サンショク 会長）
ハム組合 石野 克彦（理事、(株)フードリエ 社長）
佐藤 勝清（元理事、浅草ハム(株) 相談役）
竹内 裕嗣（理事、大和食品工業(株) 社長）

- (3) 令和2年3月4日、一般財団法人食品産業センター主催の「第41回食品産業優良企業等表彰」の食品産業部門において、農林水産大臣賞が以下の通り授与された。

< 農商工連携推進タイプ >

中田二郎（天狗中田産業(株) 社長）

< 経営革新タイプ >

竹内裕嗣（大和食品工業(株) 社長）

< マイスター部門 >

松井陽樹（サンショク(株) 会長）

3. 会員に関する事項(令和2年3月31日現在)

期 別	会 員 数
前 期 末 現 在	134名(正会員甲132名、正会員乙0名、特別会員2名)
新 加 入 者	2名(正会員甲 2名)
脱 退 者	4名(正会員甲 4名)
今 期 末 現 在	132名(正会員甲130名、正会員乙0名、特別会員2名)

(注1) 正会員甲：食肉加工業を主たる事業として経営するもの

正会員乙：食肉加工業を事業の一部として経営するもの

特別会員：食肉加工業に関連を有する者で理事会が承認したもの

4. 事業の概要

(1) 安全性の確保に関する事業

ア. 総合衛生管理製造過程承認制度（マル総）の廃止に伴う新たな施設認定制度の創設要請について

食品衛生法の一部改正によるHACCPの制度化に伴い、「総合衛生管理製造過程承認制度（以下「マル総」という。）が廃止されることとなったが、当業界としては、これまで、国の指導のもとマル総の普及推進に努めてきたところであり、マル総の廃止後においても、これまでのマル総の承認成果が引き続き活用され得るしくみについての検討を、厚生労働省食品監視安全課長に対して要請した。

イ. HACCPシステムに基づく衛生管理講習会の開催

会員のHACCPシステムについての理解を深めその推進を図るため、「HACCPシステムに基づく衛生管理講習会(食肉製品)(旧講習会名:総合衛生管理製造過程に係る講習会)」を前年度に引き続き開催した。

期 日	会 場	受講者数
元.6.4～6.7	東京都渋谷区「E B I S 3 0 3」	34名
2.1.21～1.24	東京都渋谷区「E B I S 3 0 3」	27名

ウ． 食品の製造過程の管理の高度化に関する臨時措置法(H A C C P手法支援法)に係る指定認定機関の業務について

H A C C P手法支援法では、食品製造工場がH A C C Pシステムを導入し、製造過程の管理の高度化を円滑に図る際の施設設備の整備又はH A C C Pシステム導入に向けた前段階での施設設備の整備を支援する。当協会は同法に基づく食肉製品の指定認定機関としての業務を行っているが、令和元年度は高度化計画の申請はなかったが、会員外の食肉製品製造工場から高度化基盤整備計画の申請が1件あり、認定を行った。

エ． 小規模生産体制強化対策事業の実施協力

一般社団法人食肉科学技術研究所(以下「食肉科研」という。)と連携し、日本ハム・ソーセージ工業協同組合(以下「ハム組合」という。)事業に実施協力をした。H A C C Pに係る技術指導を希望する小規模会員を対象に、「一般衛生管理計画」及び「重要管理計画」の作成と実施記録等について、実行可能性の観点から指導・助言を行い、令和元年度は、関東地区6社、関西地区1社、九州地区2社の計9会員を対象として技術指導を行った。

オ． 食品等関連機関の主催するセミナー等への参加

農林水産省、厚生労働省、公正取引委員会、(一財)食品産業センター、(公社)日本食肉協議会、(公社)中央畜産会、(一社)日本農林規格協会を始めとする食品等関連機関が実施する安全性の確保に関する講習会等を通じて情報の収集を行い、会員、消費者等に情報を提供した。

カ． 食品衛生法の改正等に伴う関連情報の収集及び提供

関係省庁等から情報を収集し、会員、消費者等へ新しく正しい情報の提供に努めた。

キ． 食肉加工品の安全性に関する問合せへの対応

会員、消費者等からの問合せに対し、正しい情報の提供に努めた。

(2) 品質・製造技術の向上及び規格・表示に関する事業

ア． 初級食肉加工技術講習会の延期

食肉及び食肉加工品に対する理解を深めるため、その種類や製造方法、原料肉の基礎知識、食肉の科学並びに衛生管理等に関する講義及び製造実習を大幅にブラッシュアップし、下記日程での開催を計画し、準備を進めたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、実施時期を令和2年度に延期することとした。

期 日	会 場
令和2年3月2日～6日	日本大学生物資源科学部湘南校舎

イ． 食肉製品の規格と表示に関する勉強会の開催について

ハム・ソーセージ類公正取引協議会(以下「公取協」という。)及び食肉科研と協力し、食品の表示について、基準となる食品表示基準に加え、J A S規格、食品衛生法及びハム・ソーセージ類の表示に関する公正競争規約との関連性について、若手を対

象とした「食肉製品の規格と表示に関する勉強会」を令和元年度は2回実施した。資料として食肉製品表示ブック(基準及び通知編)及び食肉製品表示ブック(Q & A編)を提供した。

期 日	会 場	人数
令和元年10月 3日～ 4日	ハム・ソーセージ会館	20名
令和2年 2月13日～14日		20名

ウ． 加工食品の原料原産地表示の義務化について

平成29年9月1日付けで食品表示基準が一部改正、施行され、全ての加工食品に原料原産地を表示することとなった。当協会は、昨年に引き続きハム組合と連携して、原料原産地表示義務化に関する情報収集を行うとともに、会員へ表示方法や留意点等に関する情報提供に努めた。

エ． 食品等関連機関の主催するセミナー等への参加

農林水産省、厚生労働省、公正取引委員会、(一財)食品産業センター、(公社)日本食肉協議会、(一財)食品産業センター、(公社)日本食肉協議会、(公社)中央畜産会、(一社)日本農林規格協会を始めとする食品等関連団体が実施する品質や規格・表示に関する講習会等を通じて情報の収集を行い、会員、消費者等に情報を提供した。

オ． 品質等管理優良事例の表彰

JAS認定製造業者のうち年間を通じて格付業務並びに品質管理が優秀であった上位10工場並びに当該工場の品質管理担当者、格付担当者に対し、表彰状及び記念品を贈呈した。代表1社には総会表彰式へ出席頂いた。

カ． 消費者等からの品質・規格・表示等に関する問合せへの対応

消費者等からの品質・規格・表示等に関する問合せに対し、正しい情報の提供に努めた。

(3) 普及啓発に関する事業

消費者への食肉加工品に関する正しい知識の普及啓発を目的として、ハム組合及び公取協が行う次の事業の実施に協力した。

ア． 小冊子・グッズの作成及び配布

見開きA4サイズカラー40ページのまんが小冊子「ハムソベ大スキ！知って納得！食品添加物」を4万8千部作成し、国産食肉消費促進イベント等の催事及び会員・組合員を通じて消費者に配布した。

イ． 催事への協賛・協力

食肉加工業界の発展に資するため、次の催事に協賛・協力した。

平成31年4月17日から19日までの3日間東京ビッグサイトにおいて開催された「2019食肉産業展」に協賛・出展した。

令和元年7月9日から12日までの4日間東京ビッグサイトにおいて開催された(一

社)日本食品機械工業会主催の「2019国際食品工業展(FOOMA JAPAN 2019)」に協賛・協力した。

ウ． 加工情報誌の発刊等

食肉加工業に関する時事、経営、技術のほか統計資料等に関する情報を編集した「日本食肉加工情報」を毎月1回発行し、会員及び関係官公庁、団体、学校、その他に広く配布した。

(4) 経営の改善等に関する事業

ア． ハム・ソーセージ・ベーコン製造技能検定の推進と実施協力

令和元年度後期「ハム・ソーセージ・ベーコン製造」技能検定について、ハム組合、食肉科研及び公取協と連携して実技試験の実施に協力した。令和2年2月8日、9日に実技試験、1月26日に学科試験が行われた結果、1級44名、2級34名が「ハム・ソーセージ・ベーコン製造技能士」となった。

イ． 環境自主行動計画について

環境自主行動計画について、2030年を目標年度とする「食肉加工業界の環境自主行動計画」に係る令和元年度（平成30年度実績）フォローアップ調査を実施し、その調査結果を令和2年1月22日に農林水産省へ報告するとともにハム組合ホームページに掲載した。

ウ． 食肉等の輸入動向について

食肉の輸入動向等について「食肉に関する情報交換会」を開催し（合計11回）情報・意見交換を行った。

(5) 食肉加工業に関連する法令の改正等に伴う情報の収集及び提供

食肉製品に係る法令（食品表示法、JAS法、食品衛生法、健康増進法及び景品表示法等）の改正等の情報を収集し、必要に応じて会員に係る資料を送付、周知を図った。

(6) 食肉加工関係功労者の表彰について

会員の従業員として永年勤続し、勤務成績等良好で他の範とするに足る優良従業員に対し、ハム組合と合同して、30年以上の勤続者には表彰状及び記念品を、20年以上の勤続者には表彰状をそれぞれ贈呈した。

被表彰者 30年以上勤続者 二チ口畜産株式会社 四ツ屋 雄輔氏 他全58名
 20年以上勤続者 信州ハム株式会社 遠藤 裕幸氏 他全29名

(7) その他

ア． 令和元年のカレンダー及び食肉加工手帳を作成し会員等にそれぞれ配付した。

イ． 会員に対する慶弔について

会員の慶弔に対し、ハム組合と合同して規程に基づき慶弔の意を表した。

慶 弔 8件